

顔認証入退室管理システム

※FaceEyeロゴ差し替え

操作説明書

<https://cybercore.co.jp>

目次

第1章 はじめに

- FaceEye とは
- ユーザー権限について
- ユーザー権限による機能の違い

第2章 初期設定

- Webアクセス
- マスターユーザーログイン
- 管理者ユーザーの登録
- その後の運用について

第3章 各機能の解説

- ログイン
- ユーザーの検索
- 新規ユーザーの登録
- ユーザーの顔画像を登録
- ユーザー情報の編集
- ユーザーの削除
- 認証履歴の閲覧

第4章 左メニュー機能の解説

- 左メニューの開き方
- 言語設定の切り替え
- パスワードの変更
- 認証履歴の出力
- 利用履歴の出力
- 操作説明書
- 製品情報
- ログアウト

第5章 サポート情報

- 製品に関するお問い合わせ

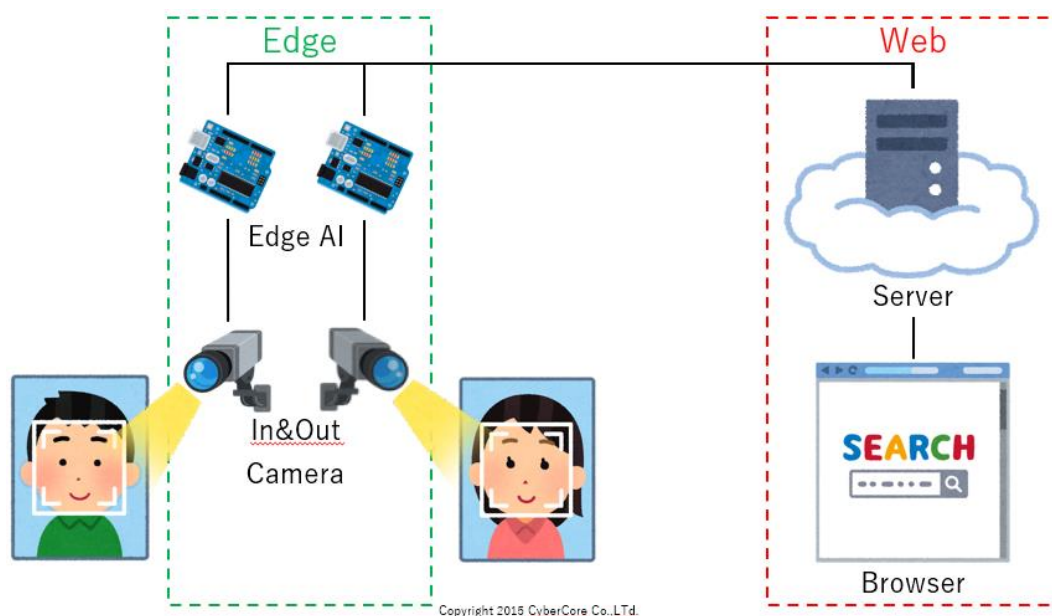
第1章 はじめに

本章では、FaceEyeの概要について説明しています。

FaceEyeとは

FaceEyeとは、顔認証AI技術を用いて建物の出入口に入室および退出する人物の顔画像やその日時といった履歴情報を記録する機能と、それを管理する為のWebページを備えたシステムです。

主に本書ではWebページ側の操作説明を行っています。



FaceEyeのイメージ

第2章 初期設定

本章では、本製品を始めて利用する場合に必要な初期設定の手順を説明しています。

Webアクセス

本製品を利用にはWebサイトへのアクセスが必要です。ウェブブラウザより、http://***** へアクセスしてください。

※本製品が対応しているウェブブラウザは以下の通りです。

Microsoft Edge(v90以上)、Google Chrome(v90以上)、Safari (12以上)

マスターユーザーログイン

本製品の出荷時点では管理者権限を付与されたマスターユーザーのみが登録されていますので、マスターユーザーのユーザーIDとパスワードを用いてログインします。以下に記載のユーザーIDとパスワードを入力して、ログインボタンをクリックしてください。

マスターユーザー

ユーザーID：00000001

パスワード：secret12

ログイン

ユーザーIDとパスワードを入力してログインボタンを押すとログインできます。

ユーザーID

ユーザーID入力欄

パスワード

パスワード入力欄

ログイン

ログイン画面

管理者ユーザーの登録

マスターユーザーでのログインが完了した後は、管理者となるユーザーの登録を行います。ログイン後に表示されるユーザー検索画面にて + 新規作成ボタンをクリックし、ユーザー登録画面へ移行します。

ユーザー検索

ユーザー名を入力して検索ボタンを押すとユーザーが表示されます。

検索

ID ↑	ユーザー名	メニュー
00000001	Super Admin	認証履歴閲覧 ▾
00000002	fwwsefe	認証履歴閲覧 ▾
00000003	3	認証履歴閲覧 ▾

+ 新規登録

ユーザー検索画面

ユーザー登録画面では登録するユーザーの情報を入力して、登録ボタンをクリックする事でユーザーを登録できます。ここでは管理者ユーザーを登録するので、管理者権限に忘れずにチェックを入れてください。各入力項目の詳細は「第3章 各機能の解説 ユーザー登録」(8頁)をご参照ください。

ユーザー登録

ユーザー情報を入力して登録ボタンを押すと、新規ユーザーを登録できます。

ユーザーID

00000004

パスワード *

パスワード入力欄

ユーザー名 *

ユーザー名入力欄

読み方 *

読み方入力欄 (アルファベッ

管理者権限

☐

登録

戻る

ユーザー登録画面

初期設定完了

管理者ユーザーの登録が完了した後は、マスターユーザーからログアウトを行ってください。ログアウトを実行するには左メニューのログアウトをクリックする事で行えます。

(左メニューが表示されていない場合はページ上部、Cybercore社ロゴの左にある「≡」マークをクリックしてください。)



左メニュー（管理者用）

以降は登録済みのユーザーでログインを行って、次章以降に記す各機能をお試してください。また、セキュリティの観点上、マスターユーザーのIDとパスワードは公開せずに、システム管理者が厳重に保管する事を推奨します。

第3章 各機能の解説

本章では、本製品で利用できる各機能について説明しています。

また、機能にはユーザーに設定された権限によって利用できるものとできないものがあり、それについても説明しています。

ユーザーの権限について

本製品には、利用するユーザーに与えられた権限によって利用できる機能に違いがあります。そのため本書では各機能の利用にどの権限が必要であるかを以下のマークを用いて表記しています。

管理者

この表記がある機能は**管理者権限**を付与されたユーザーでのログインが必要です。

一般

この表記がある機能は**一般権限**を付与されたユーザーでのログインが必要です。

ユーザー権限による機能の違い

本製品においてユーザーに与えられる権限は、管理者ユーザーと一般ユーザーの2種類があり、それぞれが利用できる機能の違いを次頁の表に示します。

機能一覧と権限による利用可否

機能名	管理者ユーザー	一般ユーザー	解説参照
ログイン	○	○	10頁
ユーザー検索	○	○※1	11頁
ユーザー登録	○	×	12頁
顔画像撮影	○	×	14頁
ユーザー編集	○	×	15頁
ユーザー削除	○	×	16頁
認証履歴閲覧	○	○※2	17頁
言語設定	○	○	19頁
パスワード変更	○	○	19頁
認証履歴出力	○	○※2	20頁
利用履歴出力	○	×	21頁
操作説明書	○	○	22頁
製品情報	○	○	22頁
ログアウト	○	○	23頁

※1 一部機能に制限あり

※2 ログイン中のユーザーのみ可

ログイン

[管理者](#)[一般](#)

本製品へアクセスすると初めにログイン画面が表示されます。
ログインするには、登録済みのユーザーIDとパスワードが必要です。ユーザーIDとパスワードを入力して、ログインボタンをクリックしてください。



ログイン画面のスクリーンショット。タイトル「ログイン」の下に「ユーザーIDとパスワードを入力してログインボタンを押すとログインできます。」という説明があります。入力欄には「ユーザーID」と「パスワード」があり、それぞれ「ユーザーID入力欄」と「パスワード入力欄」というラベルが付いています。右下には「ログイン」ボタンがあります。

ログイン画面

登録済みのユーザーIDとパスワードがわからない場合には管理者ユーザーに問い合わせください。

登録済みのユーザーが存在しない場合には、本書「第1章 はじめに」(○頁)の手順に従って管理者ユーザー、及び一般ユーザーの登録を行ってください。ユーザーの登録方法については本書「第3章 各機能の解説 ユーザー登録」(○頁)をご参照ください。

ユーザーの検索

管理者

一般

登録済みユーザーの検索は、ログイン後に表示されるユーザー検索画面で行えます。検索文字列を入力して検索ボタンをクリックする事で、入力文字列を含む部分一致検索により該当するユーザーが一覧で表示されます。検索文字列を空白のまま検索ボタンをクリックした場合は、全てのユーザーが一覧で表示されます。

ユーザー検索

ユーザー名を入力して検索ボタンを押すとユーザーが表示されます。

ID ↑	ユーザー名	メニュー
00000001	Super Admin	認証履歴閲覧 ▾
00000002	fwfwsefe	認証履歴閲覧 ▾
00000003	3	認証履歴閲覧 ▾

ユーザー検索画面

一覧表示されたユーザーはID、またはユーザー名で昇順、または降順にソートする事が可能です。デフォルトではID昇順で表示され、もう一度ID列をクリックするとID降順に、ユーザー名列をクリックするとユーザー名昇順というように表示が切り替わります。

ID ↑	ユーザー名	メニュー
00000001	Super Admin	認証履歴閲覧 ▾
00000002	fwfwsefe	認証履歴閲覧 ▾
00000003	3	認証履歴閲覧 ▾

検索文字列入力欄と、検索ユーザー一覧

検索されたユーザーには各機能へ移行する為のメニューボタンが表示されます。選べる機能はユーザーの権限によって異なりますが、デフォルトでは認証履歴閲覧機能が表示されています。それ以外の機能は▼ボタンをクリックする事で選択が可能です。ここで選択できる機能は以下の通りです。

- ・ 認証履歴閲覧
- ・ 顔画像撮影（管理者のみ）
- ・ ユーザー編集（管理者のみ）
- ・ ユーザー削除（管理者のみ）



メニューボタン

新規ユーザーの登録

管理者

新たなユーザーの登録を行うには、ユーザー検索画面の右下にある新規登録ボタンをクリックしてユーザー登録画面へ移行して下さい。



新規登録ボタン

ユーザー登録画面

ユーザー登録画面では登録するユーザーの情報を入力して登録ボタンをクリックすると登録が完了します。ユーザーの登録に必要な情報は以下の通りです。

- ・ユーザーID
ユーザーを識別するための数字 ※自動付与
(半角数字8桁)
- ・パスワード
ログイン時に必要となるパスワード
(半角英数記号のみ、20文字まで)
- ・ユーザー名
ユーザーの名称
(入力規制なし、20文字分まで)
- ・読み方
音声読み上げ時に読み上げるアルファベット
(入力規制なし、20文字分まで)
- ・管理者権限
ユーザーに管理者権限を付与するか否か
(チェック有：管理者 チェック無：一般)

ユーザーの顔画像を登録

管理者

本製品で顔認証を行う為には、事前にユーザーに対して顔画像を登録する必要があります。ユーザー検索画面のメニューボタンより、顔画像撮影を選択して、顔画像撮影画面へ移行します。



メニューボタン

顔画像撮影画面ではWebカメラを用いてユーザーに対して9角度分の顔画像を撮影、登録を行います。撮影する角度を選択して撮影ボタンをクリックする事を9角度分繰り返した後、登録ボタンをクリックする事でユーザーに顔画像が登録されます。顔画像を再登録する場合も同様の手順で上書き登録が行えます。

※顔認証の認識率向上の為にマスクおよびサングラスは外してください。



顔画像撮影画面

ユーザー情報の編集

管理者

登録済みのユーザーの情報を編集する場合には、ユーザー検索画面のメニューボタンより、ユーザー編集を選択して、ユーザー編集画面へ移行します。



メニューボタン

ユーザー編集画面ではユーザーに登録されている情報が表示され、各情報を編集のうえで編集ボタンをクリックすると編集が完了します。

※パスワードのみ「*」（アスタリスク）表示されます

※ユーザーIDは変更する事はできません。

A screenshot of the 'ユーザー編集' (Edit User) screen. At the top, the title 'ユーザー編集' is displayed. Below it, a subtitle reads: 'ユーザー情報を再入力して編集ボタンを押すと、ユーザー情報を修正できます。' (You can correct the user information by re-entering the user information and pressing the edit button). The form contains the following fields: 'ユーザーID' (User ID) with the value '00000001'; 'パスワード' (Password) with a masked value '*****'; 'ユーザー名' (Username) with the value 'Super Admin'; '読み方' (Reading Method) with the value '読み方'; and a '管理者権限' (Administrator Privilege) checkbox which is checked. At the bottom right, there are two buttons: a green '編集' (Edit) button and a red '戻る' (Back) button.

ユーザー編集画面

ユーザーの削除

管理者

登録済みのユーザーを削除する場合には、ユーザー検索画面のメニューボタンより、ユーザー削除を選択します。



メニューボタン

ユーザー削除ウィンドウがポップアップし、確認のうえで削除ボタンをクリックすると削除が完了します。



ユーザー削除ウィンドウ

認証履歴の閲覧

管理者

一般

顔認証された履歴を閲覧するにはユーザー検索画面のメニューボタンより、認証履歴閲覧を選択します。（一般権限の場合は自分のみ選択可）



メニューボタン

認証履歴閲覧画面では対象ユーザーの顔認証履歴が一覧で表示されます。これは年月または年月日による絞り込みや、認証日時による昇順または降順での並べ替えが可能です。

認証日時列で顔認証された日時を、入室/退室列で入室および退室の区分を、画像列でその時の画像を確認する事ができます。

認証履歴閲覧

登録済みユーザーの顔認証履歴を閲覧できます。

ユーザー 00000001 : Super Admin

月/日選択 yyyy/mm

yyyy/mm/dd

認証日時 ↑	入室/退室	画像
2022/01/18 13:50:35.709	入室	画像
2022/01/18 14:10:04.239	退室	画像
2022/01/18 14:20:52.007	退室	画像
2022/01/18 14:27:00.183	退室	画像
2022/01/18 14:27:08.195	入室	画像
2022/01/18 14:28:02.389	入室	画像
2022/01/18 15:05:54.061	退室	画像
2022/01/18 15:13:14.689	退室	画像
2022/01/18 15:20:55.064	退室	画像

戻る

認証履歴閲覧画面

第4章 左メニュー機能の解説

本章では、本製品で利用できる左メニューの各機能について説明しています。ユーザーに設定された権限によって利用できる機能に違いがあります。権限による機能の違いについては○頁を参照ください。

左メニューの開き方

管理者

一般

左メニューを開くにはページ上部、Cybercore社ロゴの左にある「≡」マークをクリックしてください。開いたメニューを閉じるにはもう一度「≡」マークをクリックしてください。



左メニュー（管理者用）



左メニュー（一般用）

言語設定の切り替え

管理者

一般

本製品において扱われる言語は日本語、英語で切り替えが可能です。
切り替えには左メニューの言語設定リストから希望する言語を選択してください。



言語設定の切り替え

パスワードの変更

管理者

一般

現在ログイン中のユーザーについて、パスワードを変更することができます。左メニューのパスワード変更をクリックしてください。パスワード変更画面が表示されるので現在のパスワード、新しいパスワード、確認用の新しいパスワードの3つを入力の上、変更ボタンをクリックすることでパスワードに変更できます。

パスワード変更

ログイン中ユーザーのパスワードを変更できます。

ユーザー	00000001:Super Admin
現パスワード *	現在のパスワード入力欄
新パスワード *	新規のパスワード入力欄
新パスワード (確認) *	新規のパスワード入力欄

変更 戻る

パスワード変更画面

認証履歴の出力

管理者

一般

現在ログイン中のユーザーについて、17頁「認証履歴の閲覧」で閲覧できる顔認証された履歴情報をCSV形式でファイル出力する事ができます。左メニューから認証履歴出力をクリックしてください。認証履歴出力画面が表示されるので、希望する年月を選択してCSV出力ボタンをクリックしてください。

認証履歴出力

ログイン中ユーザーの顔認証履歴をCSV出力できます。

ユーザー

00000001:Super Admin

月選択

2022/01



CSV出力

戻る

認証履歴出力画面

出力されたCSVファイルには以下の情報が記載されています。

date：顔認証が行われた日付

time：顔認証が行われた日時

In/out：入室側、退室側の種別

userid：顔認証が行われたユーザーID

username：顔認証が行われたユーザー名

img：顔認証が行われた際の顔画像ファイル名

利用履歴の出力

管理者

本製品が利用された履歴をCSV形式で出力することができます。
左メニューから利用履歴出力をクリックしてください。利用履歴出力画面が表示されるので、希望する年月を選択してCSV出力ボタンをクリックしてください。

利用履歴出力

ログイン中ユーザーのFaceEye Web利用履歴をCSV出力できます。

ユーザー00000001:Super Admin

月選択2022/01

CSV出力戻る

利用履歴出力画面

出力されたCSVファイルには以下の情報が記載されています。

date：各機能が実行された日付
time：各機能が実行された時間
order：実行された機能の種別
new：新規ユーザーの登録
edit：ユーザー情報の編集
delete：ユーザーの削除
taken：ユーザーの顔画像を撮影
brows：認証履歴の閲覧

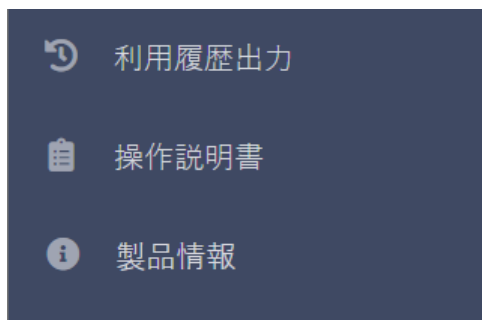
operator：各機能を実行したユーザーID
target：各機能の実行対象となったユーザーID

操作説明書

管理者

一般

Webページ上で本書を表示する事ができます。
左メニューから操作説明書をクリックしてください。



操作説明書

製品情報

管理者

一般

本製品の情報、Cybercore社へのリンクを表示できます。
左メニューから製品情報をクリックしてください。



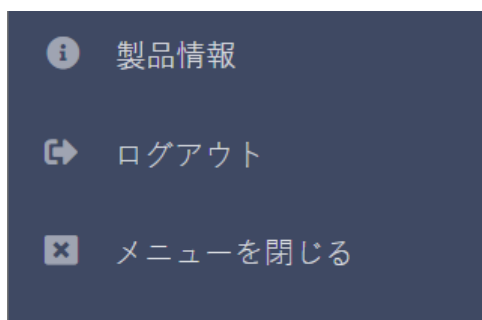
製品情報画面

ログアウト

管理者

一般

ログイン中の状態からログアウトする事ができます。
左メニューからログアウトをクリックしてください。



ログアウト

第5章 サポート情報

本章では本製品に関するお問い合わせ先を記載しています。

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは以下までお願い致します。

株式会社サイバーコア

<https://cybercore.co.jp/jp/contact/>